

和地ひとみレポート No.293

平成29年度決算は賛成多数で認定…

前年度より“ゆとり”のなくなった決算内容



■平成29年度決算

…9月19日と20日の2日間開催された、H29年度決算について審議する決算特別委員会での審議の結果、H29年度の一般会計ならびに5特別会計の決算は賛成多数で認定されました。決算内容は市報並びに市のホームページでも発表されますが、ここでは、他自治体が作成している『市民目線での決算報告』を参考に、私が作成した概要を報告させていただきます。

(裏面をご参照ください)

■年度初めに立てた目標に対し…

…市は毎年度、特に力を入れて取り組む重点施策などを設定します。その結果が決算ですが、決算書や行政報告書では、実施した事業にかかった費用や概要は確認できるものの、それによってどのような効果があったのか、また、その結果を市はどのように考えているのか、反省点はあるのか等までは分かりません。

そこで、今回の決算特別委員会では、この点を確認しました。その答弁のポイントは以下の通りです。

◆H29年度においては、持続可能な行財政運営につながる事業が着実に実施できたものと考えている。

◆特に子育て支援施策については、「日本一子育てしやすいまちづくり」の推進に向けて、重点的な取組を行い一定の効果が出たと認識している。

⇒待機児童対策として小規模保育の新規開設、民間保育園の移転新築等により乳幼児等の受け入れ枠を拡大した。

⇒妊娠、出産、子育てについて、切れ目のないきめ細やかな対応の充実にも力を入れた。

⇒学童保育所の指導員の増員を図る、民設民営の学童保育の新設も行い、待機児童対策を行った。

◆思うように効果が出なかった施策は、保育園の受け入れ枠の拡大を十分にしてきたと認識してきたが、保育の無償化などに向けて、保育ニーズが増えたことで、H30年度4月には想定よりも多く待機児童が出てしまった。

◆教育施策では、学習支援員やチームティーチャーを配置し、学力の向上に着実に寄与できたと思っている。

◆健康施策の関係では健康寿命の延伸という形で効果が数値に現れた。

◆人口の増、維持についての一つの取組みとして、ブランドプロモーションの視点で定住人口の増加、維持を図っていくという施策をスタートすることができた。



■基本的に必要なこと以外は

実行が困難状況

…市の財政状況の指標の一つに“経常収支比率”というものがあります。この経常収支比率とは地方公共団体(=東大和市)の財政構造の弾力性を表しており、人件費、扶助費、公債費などの経常的な経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを示したものです。

言い換えると、**経常収入**=常に決まっている収入に対する**経常支出**=常に決まっている支出(基本的な自治体運営をするうえでかかる費用)の割合で、別名、自治体のエンゲル係数ともいわれているものです。

…この比率は概ね70%~80%の間であることが理想とされており、100%を超えれば、基本的に必要以外の新たな施策などに財源を使う余裕がない=財政構造が硬直化しているということになります。

…東大和市のH29年度の経常収支比率は昨年度より1.2%アップの93.7%で、ここ近年での最高値。

東大和市では経常収支比率を90%にすることを目標としていますが、毎年、少しずつ増えてしまっている状況です。下げたい数値である一方で、市の目指している“子育て支援施策”を充実させれば扶助費が増加し、経常収支比率の増加要因となってしまいます。市も少子高齢化の進展に伴い、社会保障関係経費と待機児童対策など子育て環境の充実に必要な経費などが今後も増加することで、経常収支比率の増加要因となる見通しを示しました。

■将来の事業に備え、さらなる工夫を

…また、市は「今後は人件費の削減や業務の見直しなどだけでなく、さらに踏み込んだ形で公共施設の統廃合といった大胆なことに切り込んでいく必要もあると考えている。既存の事業を見直す際も、大局的な視点で見えていく必要がある。」との考えも示し、今まで以上に改革を進めなければ、今後、必要となる公共施設の老朽化対策や防災対策などに取組めない“ゆとりのない”状況になっていることが浮き彫りになりました。

…特別会計についても、国民健康保険特別会計については

見直し(≒値上げ)により、先行きの見通しは少しはついたものの、予断を許さない状況。

また、下水道特別会計についても、老朽化している下水道管の維持管理や局地的豪雨などによる雨水処理への対応などを考えると、基金(≒貯金)を増やして備えていく必要があります。

…東大和市は、今後、必要となる事業を見据えるとともに、今までとは違った視点で、事業等を見直しをし、この状況を改善するためのさらなる工夫が必要です。



■平成 29 年度決算

※万単位 ※()内は前年度比

※特別会計の説明欄には、独自財源では賄えなかった補てんとして、一般会計から繰り入れている額等を明記。

		【歳入≒収入】	【歳出≒支出】	
全会計		544 億 8,367 万円 (1.6%減)	520 億 4,392 万円 (2.3%減)	
一般会計		330 億 5,519 万円 (4.9%減)	316 億 3,436 万円 (4.6%減)	教育、福祉、医療、道路や公園の整備など、市の基本的なサービスを行う会計
特別会計	国民健康保険事業特別会計	107 億 8,935 万円 (0.5%増)	103 億 9,543 万円 (2.4%減)	一般会計からの繰入金 12 億 9,899 万円(前年度比5.7%増)
	下水道事業特別会計	21 億 3,755 万円 (0.2%増)	20 億 8,419 万円 (0.1%増)	一般会計からの繰入金 3 億 7,149 万円(前年度比21.8%減)
	土地区画整理事業特別会計	7,039 万円 (37.1%減)	6,382 万円 (10.7%減)	一般会計からの繰入金 2,992 万円(前年度比0.7%減)
	介護保険事業特別会計	64 億 6,179 万円 (12.7%増)	59 億 2,411 万円 (8.9%増)	一般会計からの繰入金 10 億 7,810 万円(前年度比11.9%増)
	後期高齢者医療特別会計	19 億 6,938 万円 (3.3%増)	19 億 4,199 万円 (3.9%増)	一般会計からの繰入金 9 億 5,954 万円(前年度比0.6%増)

■平成 29 年度一般会計歳入(≒収入)について

⇒ 家計が500万円だった場合に置き換えると

市税	126 億 7,157 万円	38.3%
使用料・手数料など	4 億 7,186 万円	1.4%
繰入金	7 億 6,974 万円	2.3%
国・都支出金・地方交付税など	155 億 219 万円	46.9%
市債	14 億 6,250 万円	4.4%
その他	21 億 7,733 万円	6.7%
合計	330 億 5,519 万円	100.0%

給料	¥1,915,000
パート収入	¥70,000
貯金の切り崩し	¥115,000
親からの援助	¥2,345,000
借入金	¥220,000
その他、財産売り払い、利子収入等	¥335,000
合計	¥5,000,000

■平成 29 年度一般会計の性質別歳出(≒支出)について※決算カードを参照

人件費	給料など人にかかる経費	42 億 8,993 万円	13.6%
扶助費	福祉や医療などにかかる経費	112 億 2,430 万円	35.5%
公債費	借金の返済にかかる経費	16 億 655 万円	5.1%
投資的経費	施設や公園・道路の整備にかかる経費	18 億 3,381 万円	5.8%
物件費	光熱水費や消耗品などにかかる経費	44 億 1,256 万円	14.0%
繰出金	特別会計へ支出する経費	37 億 7,546 万円	11.9%
積立金	貯金	12 億 600 万円	3.8%
その他	その他	32 億 5,963 万円	10.3%
合計		316 億 824 万円	100.0%

一般会計の 市民一人 あたりの 歳出は ¥368,833	¥50,059
※H30年 4月1日の 住民基本台帳 人口 85,698人	¥130,975
	¥18,747
	¥21,399
	¥51,490
	¥44,055
	¥14,073
	¥38,035
	¥368,833

※歳出の性質別状況の数字については『地方財政状況調査』によるもので、そのルールにより2,612万6,000円が控除されています。よって、上記の一般会計の歳出合計額とは数字は一致しません。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となり、月刊誌『日経 WOMAN』でのベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102